仙台育英学園
同窓会々報

発行所　仙台育英学園同窓会
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野二丁目4-1
TEL 022-256-4141
編　集　仙台育英学園
発行人　同窓会事務局
印刷所
㈱トーヨープリントセールス
TEL 022-225-8771

大いなる活躍

仙台育英学園同窓会
会長　小坂信雄

全国的に高温酷暑といわれ、世情は混沌として景気は低迷し活気のない昨今ですが、同窓各位にはご壮健に過ごされてご活躍のことと存じます。

同窓兄姉には、日頃より母校仙台育英学園と我が同窓会の繁栄と発展のため多大のご協力を賜り、お陰さまで本会も順調な運営を続けておることに深く敬意を表しあげます。

昨年夏に、中国の北京で開催されたオリンピックに、陸上女子走り幅跳び池田久美子さん（一九九九年卒）、卓球女子　平野早矢香さん（二〇〇三年卒）、卓球男子　岸川聖也さん（二〇〇六年卒）、陸上男子マラソン　サムエル・ワンジルさん（二〇〇五年卒）、このあと開催されたパラリンピック陸上女子走り幅跳び　佐藤真海さん（二〇〇〇年卒）の諸君が出場されて母校の名誉を高揚してくれました。

とくに、ワンジルさんは見事に優勝、念願の金メダルを手にしインタビューで全世界に向かって「この栄誉は、日本の仙台育英高校で指導をうけたお陰だ」と高らかに話し母校の名誉を高揚されたことは我々同窓生にとっても大きな誇りであります。

卓球の岸川聖也さんと平野早矢香さんはその後、世界選手権大会に日本代表選手として出場されて世界の選手を相手にトップ争いをするなど大活躍をしていることに声援をおくり今後一層の健闘を期待したいとおもいます。

また同窓生で在学中から剣道の錬成に励まれて卒業後も仕事の合間に同好の志が集い、やがて昭和三十一年に剣育会を結成以来、鈴木正志さん（昭和三十一年普通科卒）を会長に母校の剣道の後輩育成に努力され剣道部員の実力の向上と、会員の錬成に他校ＯＢとの定期戦を続け、最近は仙台市内の中学校体育大会の各区上位入賞による大会、そして数年前から東北六県、新潟、茨城等からも参加も加わりこの大会の意義が一層深まっております。

今年も、母校の計らいで今月十二日母校多賀城校舎グローリーホールで開催され多大の成果をあげて盛会裡に終えましたが、この大会の運営にあたった剣育会の鈴木会長はじめ母校剣道ＯＢ諸君の活躍を讃えこれからの活躍を期待しております。

母校も、教育環境もすっかり整えられその中で在校生は学習にスポーツ、部活動に活動している姿は非常に頼もしく感じております。

今春三月卒業生八三六名の進路は、大学等への進学は目標の七〇〇名を超え、就職者も九九名全員が内定という成果で、校長先生始め教職員の先生方の熱心な指導によるものと存じます。

そして、少子化が憂慮されている中で、本年も卒業生を上回る新入生を迎えたことは、母校の発展の表れで喜びに堪えません。

しかし、母校の現状は、少子化と経済不安に圧迫され、経営の任に当たられている理事長先生、そして教育を担当されている先生方は、ご苦労の中でも「I-challenge 125」を目標に掲げて努力されております。

会員各位におかれましては、この現状を認識され母校の繁栄の為一層の協力をお願いいたします。

最後に、常に本会の運営にご指導いただいております学園長先生、校長先生はじめ母校の諸先生方に深甚なる感謝の念を捧げ、今後のご健康を祈念申し上げます。

また、会員諸兄弟には、健康に留意され、これからますますのご活躍を期待し挨拶といたします。

白昼の闇

秀光中等教育学校
仙台育英学園高等学校
理事長
校長　加藤雄彦（たけひこ）

七月二十二日（水）午前中、日本の陸地としては四十六年ぶりに南西諸島周辺で皆既日食が観測されます。次にこの皆既日食が日本で観測されるのが二〇三五年九月二日（日）能登半島から北関東にかけてですから、日食病の人々はもちろんのこと、普段は宇宙や天文学にあまり関心のない方でも今回のチャンスを逃すまいとお考えなさるはずです。（条件さえ整えば、部分日食が見られる地域は日本国内全域）

日食時には普段みることのできない、半径70万キロメートルの太陽（表面温度は6000度）を取り巻く彩層（1万度）や彩層の周りで王冠のように輝く100万度から200万度のコロナ、そして太陽がつくる磁場の影響を受けてさまざまに変化しながらループ状に吹き出すプロミネンスを地上から容易に観察することができます。

さらに真夏の空に浮かぶオリオン座などの冬の星座を楽しみながら、空は暗いのに地平線がすべて赤銅色の帯状の夕焼けとなります。

場所によって、外気の温度が5度から10度下がり、夕方と勘違いした鳥たちが自分の巣に戻っていく様子や普段昼間見かけない夜行性の動物が動きだす音におどかされることもあるそうです。

一方、古来陰陽道の世界では日食は不吉なものとして忌み嫌われてきました。疫病、飢饉、天災と人々が自分の力では到底抵抗できないこれらの不幸をこの世にもたらすと信じてきたからです。最近の日本の国情を振り返ってみると、新型インフルエンザ、麻疹、ノロウイルスなどに翻弄され、あるいは海外からの資源・食糧価格の乱高下に振り回され、金融危機に端を発した経済不況に苦しみ、各地で頻発する地震におののく状態です。

今回の皆既日食を同窓生のみなさんは一大天体ショーとして楽しまれるか、不吉な現象として将来を案じられるか、白昼の闇が訪れる二十二日はやってきます。

平成21年度　宮城県高等学校総合体育大会　東北総合体育大会　成績

【宮城県大会】

☆団体種目
優勝　ラグビー　ライフル射撃（男子）Aチーム　ライフル射撃（女子）Aチーム　軟式野球
準優勝　硬式野球　陸上（男子）　レスリング　ライフル射撃（男子）Bチーム　剣道（男子）　剣道（女子）
第三位　陸上トラックの部（女子）　ライフル射撃（男子）Cチーム　ライフル射撃（女子）Bチーム

☆個人種目
優勝　陸上　女子　八〇〇m　一五〇〇m　三〇〇〇m　グレース・キフバ　グレース・キフバ　メリー・ワンゲチ
柔道　男子60kg級　佐藤大樹　佐藤瑞希
少林寺拳法　女子81kg級　堀江瞳
組演武
ライフル射撃　ビームライフルの部　男子　横田宇宙
ビームライフルの部　女子　菊池香里
ビームライフルの部　男子　北山延樹　一年生
レスリング　50kg級　大町雄大　櫻井直斗
96kg級
陸上　女子三〇〇〇m　福崎奈々
男子66kg級　内海裕輔
柔道　ライフル射撃　ビームライフルの部　男子　成田優理
※秀光中等教育学校　ビームライフルの部　女子　荘司みずき
ビームライフルの部　男子　齋藤暢哉　一年生
なぎなた　演技競技　柴田歩美
レスリング　55kg級　馬場朝妃
84kg級　大町健太
平塚勇太
第三位　陸上　男子五〇〇〇m　佐藤研人
女子三〇〇〇m　飯田花織
男子60kg級　福島卓馬
柔道　男子90kg級　三浦健一
男子100kg級　渡部将光
ライフル射撃　ビームライフルの部　男子　舟山裕平
ビームライフルの部　女子　羽田くるみ
レスリング　55kg級　吉田和樹
66kg級　三浦龍八
74kg級　鈴木嶺太郎

【東北大会】

☆団体種目
優勝　ラグビー
準優勝　軟式野球　硬式野球　剣道（男子）
第三位　陸上トラックの部（女子）　剣道（女子）

☆個人種目
優勝　陸上　女子一五〇〇m　グレース・キフバ
第三位　男子60kg級　佐藤大
柔道　81kg級　佐藤大樹

平成21年5月22日

"I-Lion Day"

『私たちが今できること』をつねに考え、行動を起こし続けていこう

二〇〇五年五月二十二日、早朝のウォークラリー中に起きた多賀城市内の国道45号線での痛ましい事故。本校ではこの五月二十二日を『I-Lion Day』と定めています。

月日が流れてもこの事故を決して風化させることのないよう、そして後輩たちに飲酒運転などの悪質な運転が引き起こす結果の重大さ、悲惨さについて認識してもらうため、今年の『I-Lion Day』もさまざまな追悼行事を実施しました。

映画鑑賞と講演会で事故の悲惨さを再認識

五月二十二日の朝、外国語、英進学、T-フレックス各コースの一年生と秀光中等教育学校全学年（一～六年生）は、多賀城校舎内にある慰霊碑「メモリアルストーン」に花を供え、黙祷を捧げました。

その後、秀光の生徒たちはグローリーホールに移動。『I-Lion Day』メモリアル映画を鑑賞しました。実話をもとに飲酒運転により息子の命を奪われた母親の闘いを描いた映画「〇（ゼロ）からの風」の上映のあとは、その映画のモデルであり、「生命（いのち）のメッセージ展」代表の鈴木共子さんの講演を聴きました。

初の試み『STAND』を開始、地元出身バンドのライブも

高校の全コース全学年の生徒たちは、仙台サンプラザに集合。午後一時からの『飲酒運転根絶カラーボトルライブ』に参加しました。

これは、生徒会の新たなプロジェクト『STAND～Sendai Takes Action No Drinking & Driving』の一環として実施。飲酒運転根絶を目的とし、今年からスタートしました。会場では、詩の朗読、開会宣言に続き、鈴木共子さんのインタビュー、そして、仙台出身の人気バンド・カラーボトルの演奏と続きました。

午後三時から宮城県庁講堂で『宮城県飲酒運転根絶県民大会』、午後四時からは多賀城市の事故現場近くで『多賀城市飲酒運転根絶大会』に参加。本校の代表生徒たちが飲酒運転根絶を訴えました。

飲酒運転のない社会を目指して新たな第一歩を

これまで私たちは、追悼行事で事故の悲惨さを再認識し、安全運転を呼び掛け、飲酒運転の厳罰化を求めて署名活動を行ってきました。そして今年からは、生徒会を中心とした『STAND』がスタートし、飲酒運転根絶に向けて新たな第一歩を踏み出しました。

今回の講話で鈴木共子さんは、「一人ひとりが誠実に精一杯生きることが何より大切」と説かれています。命の尊さを感じ、犠牲になった人たちの分まで精一杯生きる…。その言葉を心に刻み、自分に今できることを問いかけながら、飲酒運転の根絶を私たちは訴え続けます。

宮城県飲酒運転根絶県民大会

二度と同じ悲しみが生まれないよう命の尊さを伝えたい

日　時：二〇〇九年五月二十二日　15：00～

場　所：宮城県庁講堂、宮城県庁～広瀬通交差点（パレード）

参加者：生徒会、チアリーダー部、仙台育英獅子太鼓部、吹奏楽部等

午後三時から、『宮城県飲酒運転根絶県民大会』に参加しました。会場となった県庁講堂には本校生徒や交通安全団体の関係者など約四〇〇名が出席。大会の冒頭には全員で事故で犠牲となった三人に黙とうをささげました。

講演では、「絶望からの出発（たびたち）」と題して「生命（いのち）のメッセージ展」代表の鈴木共子さんが壇上に立たれました。鈴木さんは出席者たちに「飲酒運転で息子を亡くした悲しみは言葉では表せません。同じ思いをする人がいなくなるよう、多くの人に命の尊さを考えてほしい」と訴えました。

県民大会では、飲酒運転の厳罰化を求めるため署名活動などをした取り組みについて本校が表彰をいただきました。村井嘉浩知事から感謝状を手渡された生徒会会長の須賀くん（特別進学コース三年）は壇上で、仙台育英学園が飲酒運転根絶のために今後も取り組みに力を注ぐことを強く宣言しました。

大会のあと、本校生徒たちは、大会に出席した交通安全団体の方々とともに「飲酒運転しない　させない　許さない」などと書かれた横断幕やプラカードを掲げて、県庁から仙台市中心部の商店街まで約一キロをパレードし、飲酒運転根絶を訴えました。

多賀城市飲酒運転根絶大会

事故現場近くで通行車両に交通安全を呼び掛け

日　時：二〇〇九年五月二十二日　17：00～

場　所：多賀城市八幡国道45号線沿い

参加者（仙台育英学園関係者）：多賀城校舎運動部　等

事故現場に近い多賀城市八幡の国道45号線沿いの駐車場で、多賀城市の飲酒運転根絶大会が午後五時から開かれました。大会では、事故で命を奪われた三人に黙とうをささげ、「飲酒運転根絶」を宣言しました。

続いて事故現場近くでのPR活動を開始。生徒たちは国道45号線の歩道に一列に並び、「飲酒運転追放」などと書かれた飲酒運転やスピード違反への警告ボードを掲げて、通行車両に安全運転を呼びかけました。

支部だより

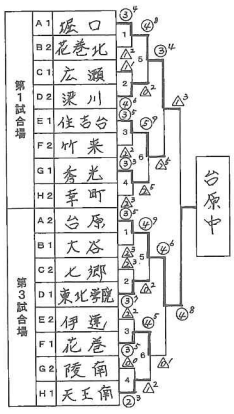
剣道部

剣育会主催、第十三回　杜の都中学校選抜剣道大会が七月五日母校多賀城校舎グローリーホールに於いて開催されました。

男子は東北六県より推薦された二十五チーム、女子は同じく二十二チームで、予選は三チームのリーグ戦で、二校が決勝トーナメントに出場し熱戦の末、男子は台原中（宮城）女子は花巻中（岩手）がそれぞれ優勝旗・優勝杯を獲得された。成績は下記のとおりです。おめでとうございます。

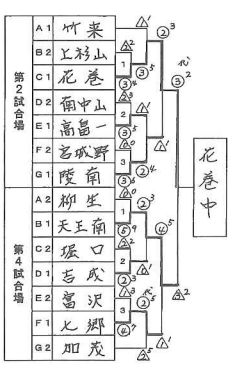
尚、剣育会（会長鈴木正志）では、中学校剣道大会を合算すると五十三年目になりました。継続されている剣育会OBの方々に深く頭の下がる思いです。

【男子決勝トーナメント】



優勝	台原中（宮城）
準優勝	坂口中（青森）
3位	住吉台中（宮城）
3位	花巻中（岩手）

【女子決勝トーナメント】



優勝	花巻中（岩手）
準優勝	天王南中（秋田）
3位	陵南中（山形）
3位	七郷中（宮城）

岩沼支部

～第十九回総会～

とき：平成二十一年十一月二十六日（土）午後五時より

ところ：竹駒神社　参集殿

会　費：四、〇〇〇円

連絡先：大友達夫

電　話：（〇二二三）二二-四三一九

岩沼近郊に在住する、仙台育英学園の卒業生であればどなたでも参加出来ますのでぜひ出席下さいますようお待ちしております。本部より会長他四～五名の役員と教頭先生が出席いたします。

訃報

岩沼支部支部長小野晋一様四月二十四日御逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

平成19年度　仙台育英学園同窓会　事業報告並びに収支決算報告

（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

◎ 事業報告

1 同窓会会報　第51号　発行
2 会員名簿の整理
3 各支部の強化拡充
4 平成19年度卒業生に対する記念品贈呈
5 生徒会クラブ活動の助成

◎ 収支決算書

収入の部

科目	予算額	決算額	差額	摘要
会費	6,704,000	6,888,840	184,840	会員部課税平成19年度卒業生会費72,493,000　発送・通信費前納過金費等
繰越金	327,685	327,685	0	平成18年度からの繰越金
基金積立金取崩	3,000,000	2,009,984	−990,016	
雑収入	501,000	509,414	8,414	無行利子¥6,174・会報発行協力金からの繰入¥500,000
計	10,532,685	9,735,923	−796,762	

支出の部

科目	予算額	決算額	差額	摘要
会報費	6,000,000	5,569,710	430,290	会報第51号発行・第89回高校野球大会応援活動
名簿費	360,000	272,510	87,490	メンテナンス料・住所変更等連絡葉書郵便代
補助費	100,000	0	100,000	
助成費	200,000	100,000	100,000	育英祭補助
記念品費	960,000	840,000	120,000	卒業記念品（スプーンセット）
強化拡充費	500,000	191,637	308,363	各支部補助・同期会等祝儀
会議費	1,200,000	851,424	348,576	総会・評会議補助・会議資料印刷代
通信費	100,000	8,880	91,120	各通信代
事務費	150,000	60,330	89,670	事務用品・振込手数料
雑費	400,000	219,500	180,500	慶弔費・印刷代・広告費等
旅費交通費	400,000	222,720	177,280	東京支部・岩沼支部総会などへの参加旅費等
基金積立金	0	0	0	
予備費	162,685	0	162,685	
計	10,532,685	8,336,711	2,195,974	残金¥1,399,212は平成20年度～繰越

基金積立金		
平成18年度預金高		4,007,151
利子		8,046
平成19年度繰入金		0
基金積立金取崩（一般会計へ）		−2,009,984
創立100周年記念事業費		51,163
計		2,056,376

会報発行協力金		
平成18年度までの残金		1,765,165
利子		2,732
平成19年度	協力金	633,000
	振込手数料	−58,570
計		2,342,327
平成19年度雑収入への繰入金		500,000
平成20年度～への繰越金		1,842,327

監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。
平成20年　8月26日
同窓会監事　宮本　昇
庄子　富士雄
大宮　照夫
千葉　俊行

学園創立者

加藤利吉先生物語

《第八回》これですべて良し、あとは私の後継者たちが学園を栄光へと…。

昭和二十年（一九四五年）七月十日未明、加藤利吉先生が築き上げてきた理想の学園は、B29の大編隊が投下した焼夷弾により一瞬のうちに焼き尽くされてしまいます。

しかし、その惨状を目の前にしながらも、利吉先生はへこたれません。

「ここでくたばってたまるか。もう一度、やり直そう」

校舎用地を探しながら青空教室で学習

再び、利吉先生の奮闘の日々が始まりました。授業再開のための教室を求めて、利吉先生は東奔西走します。幸い、仙台市立上杉山通国民学校が貸してくれることに。しかし、戦争が終わって疎開していた児童が戻ってくれば、国民学校の校舎を借りていることはできません。上杉山通国民学校の次に借りた長町国民学校も使えなくなると、ついには宮城野薬師堂や台原練兵場で青空教室での学習を行うことになります。

晴れた日には照りつける太陽のもとで、雨の日には濡れた地面の上で直立しながら…。

しかし、悪条件の中でも、授業が散漫になるようなことはありません。悪条件だからこそ教える側、教わる側それぞれに熱い思いと、学ぶことへの熱意がみなぎっていたのです。

青空学習を続けながらも新しい校舎のための用地探しは続けられました。そして、戦争が終わった年の翌年、昭和二十一年（一九四六年）四月、宮城野原にあった元陸軍省用地を獲得することができました。

これで心配なく教育に専念することができる

新しい校舎のための用地は獲得できたものの、資金があるわけではありません。利吉先生の「銀行詣で」が再び始まりました。

その一方で、軍の建物の廃材を利用したり、会津に戻って森林の木を切り出したり、建築経費を節約する努力も。宮城野原の学校敷地では運んできた材木をもとに、生徒や保護者たちの協力を得て校舎の建設が進められました。

こうして昭和二十四年（一九四九年）三月二十一日、宮城野原に新校舎が誕生しました。

「これで、雨の日に濡れずにすむ…。心配なく教育に専念することができる」

加藤利吉先生は、満足げにつぶやきました。

新しい校舎が出来あがってくるのと平行して、学校の組織・体制も戦後の学制改革により変化をとげます。昭和二十六年（一九五一年）三月、学校教育法に基づいた「学校法人仙台育英学園」が誕生しました。

バトンは昭先生、そして雄彦先生に…

太平洋戦争勃発の直前、昭和十六年に校長職を退き、理事長職に就いていた利吉先生は、昭和三十二年（一九五七年）、孫にあたる加藤昭先生（現学園理事長）を仙台に呼び、昭先生は仙台育英学園の専務理事として学校の経営に当たられることになります。さらに翌年昭和三十三年（一九五八年）には仙台育英高等学校および仙台育英商業高等学校校長に就任されます。このとき昭先生は、まだ二十九歳の若さでした。

そして、昭先生が校長に就任されたその年、長男の加藤雄彦先生が誕生します。

昭和三十七年（一九六二年）三月、利吉は学園の仕事で法務局へ足を運んだのですが、その帰途、ちょっと腹に痛みを覚え、東北大学付属病院へ診てもらいに行って、そのまま入院となりました。

その二日後には危篤状態に陥り、三月二十四日、加藤利吉はその波瀾（はらん）に満ちた八十年の生涯を閉じたのです。

太平洋戦争終結後の校舎再建に向けての奮闘。昭和二十六年の学校法人仙台育英学園設立。そして孫・加藤昭先生の校長就任、現校長先生である加藤雄彦先生の誕生…。加藤利吉先生は、八十年の生涯を閉じられるその時に、なにを思われたのでしょう。

「これですべて良し。あとは私の後継者たちが、学園を発展させ、栄光へと導いていってくれるはず。たとえ途中にどんな困難が待ち受けていても、きっとそれを乗り越えて…。」

宮城野校舎・正面玄関の前に建つ利吉先生の像は、そんな思いを抱きながら、静かに微笑まれているのかもしれません。

東京支部

～支部創立三十周年～

とき：21年11月15日（日）12時30分

ところ：ホテルオークラ レストラン「デューク」特別室

新宿野村ビル50階

住所：新宿区西新宿1-26-2

電話：〇三-三三四五-〇六一一

会費：一〇、〇〇〇円

連絡先：小川文男

電話：〇四二六-六一-九四七二まで

支部長：門屋　登

名称としては「仙台育英学園同窓会東京支部総会兼恩師を囲む会」となっております。

昨年も同会場にて開催され、天候にも恵まれて、新宿西口にある野村ビル50階からの景観も素晴らしく、47名の参加を得て開催された。

学園からは、加藤昭学園長先生をはじめ、同窓会からは大江田光雄副会長・本部役員・母校卒業の瀬戸教頭先生と部長先生や多数のご列席を頂きました。中には小笠原諸島父島からは、長時間の船旅にも拘わらず、島の名産品を持参された先輩もおられました。美味しい料理と共に久し振りに同窓生や先生方と旧交を温め、クイズやテーブル対抗イベント、じゃんけんスクラッチ等で終始会場内は熱気溢れる雰囲気となりました。これも我が母校の一致団結するところと思われます。また、閉会に先立ち全員で手を組み輪になって校歌斉唱にて盛大裡に終了いたしましたことを報告いたします。

今年は三十周年記念となり前記記載の通りですので振るってご参加下さいますようお待ちいたしております。

【1度に撮影できないので2回に撮影しました、東京支部総会】

硬式野球部OB会

創部八十周年記念事業についてお知らせ

仙台育英学園
硬式野球部OB会
会長　髙橋　泰典

硬式野球部は昭和五年創部以来、来年四月で八十周年を迎えます。その間、現在まで一二〇〇名を超える人材を輩出し、プロ野球・社会人野球はもとより全国各地各界において活躍されていることは同慶の至りであります。

これもひとえに、歴代校長先生はじめ教職員・同窓生、更には仙台育英硬式野球部を応援して頂いている方々に支えられてきたものと心から感謝しているところであります。

さて、八十周年という節目にあたり招待試合、記念講演・式典・記念誌発行を実施するため、記念事業実行委員会を設立し準備を進めているところであります。

つきましては、記念事業が推進できますよう何卒ご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、記念事業の予定については、左記のとおりとなります。

記

【記念事業】

一、招待試合
平成22年10月中旬
招待チーム：
横浜高校及び
慶応高校
場所：仙台市民球場

二、記念講演
平成22年11月20日(土)
仙台国際ホテル
15：00～16：00
講師：
横浜高校野球部
監督
渡辺　元智　氏

三、記念式典
平成22年11月20日(土)
仙台国際ホテル
17：00～

四、記念誌完成
平成22年11月中旬

★お願い★

この度昭和六年発行の「学友」第六号仙台育英中学校の会報一四六頁をご家族の方より拝借することができました。戦災や学校火災等で資料の一部が焼失してしまい、創立百二十五年に向けて収集している処です。

左記のように

※中学校・学友1号（昭和元年～）

※高等学校・会報1号（昭和三十二年）～25号（昭和五十七年）まで

※同窓会報
平成一年33号
平成二年34号
平成三年35号

尚、仙台育英学園に関する資料等がございましたならお声を掛けて頂ければお伺いして拝借いたしたく考えております。

電話　〇二二-二五六-四一四一
同窓会事務局瀬戸まで

会報発行費協力金

（H20.4.1～H21.3.31）

協力者数　683名
協力金額　692,000円

第90回全国高校野球大会 甲子園出場協力金

（H19.9.19～H20.9.30）

協力者数　395名
協力金額　2,417,000円

ご協力ありがとうございました

樹香 輔成 子機 玲 統 瑛 平 伍 太 子 子 努 一 寅 佳 哉 衣 翠 也 基 香 一 香 樹 廣 か 恵 子 ろ 聡 権 菜 一 幸 輝 也 輔 子 平 一
雅 矢 俊 園 大 勝 洋 将 圭 美 優 翔 道 和 清 真 了 和 明 裕 春 正 和 し 渓 由 慶 ち 博 徳 若 雄 知 男 聖 佑 優 兄 謙 優 発 有 一 祐 達 美 仁 尚 紘 悠 貴 英 彩 哲 藍 雅 由 友 祐 直 優 瑠 元 浩 恵 佳 綾 雄 優 仁 日 将 亜 隆 佑 清 翔 範 範 佑
田 野 木 馬 川 津 島 松 川 学 田 橋 尾 田 巻 部 川 川 野 崎 藤 田 田 藤 山 葉 中 田 田 村 豆 枝 野 藤 野 山 川 戸 学 野 問 谷 城 辺 津 祇 妻 妻 部 橋 藤 藤 藤 藤 中 木 水 木 本 原 口 下 田 田 留 辺
角 平 荒 有 市 梅 川 小 助 大 高 高 松 松 八 阿 市 及 小 黒 佐 清 阿 阿 須 阿 阿 阿